

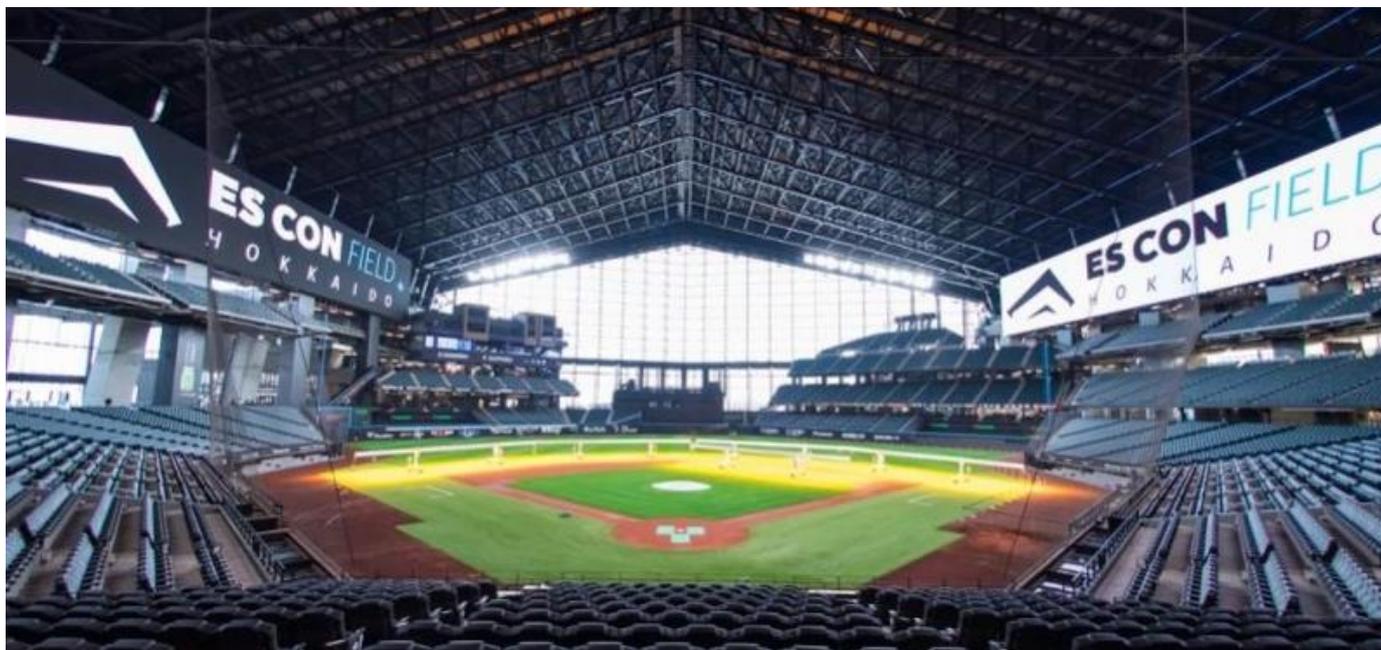
壮大な夢に挑戦するまち

～北広島市の職員の心意気に感服～

7月10日、邑楽郡の町村会で北広島市を視察いたしました。北広島市と聞くと、広島県と思う方が多いと思いますが、北海道です。

この市名は、広島県からの移住者によって開拓されたことに由来しているそうです。人口は5万6千人余り(令和6年6月31日現在)、面積は119.05 km²で明和町の約6倍です。

北広島市は、新球場となる「エスコンフィールド HOKKAIDO」(以下、「エスコンフィールド」と呼ぶ)が2023年3月に開業され、全国から注目を集めています。



【北広島市のエスコンフィールド HOKKAIDO】

北海道日本ハムファイターズのホームグラウンドであるこの球場が、どうして「エスコンフィールド」と言うのか。実は、大阪の不動産会社である㈱日本エスコンが、ネーミングライツで獲得したそうです。

また、(株)北海道日本ハムファイターズ、日本ハム(株)、(株)電通、一般財団法人民間都市開発推進機構が共同出資して、新会社「(株)ファイターズ スポーツ&エンターテイメント」を設立し、エスコンフィールドの保有・運営をされています。

そして、新球場を含めた約32ヘクタールという広大な敷地面積の中に「Fビレッジ」と称して、クリエイティブなコミュニティスペースエリアを誕生させました。これは、野球の試合を観戦するためだけの施設ではなく、ファンやパートナー、地域の方と一緒に、地域社会の活性化や社会への貢献につながる「共同創造空間」を目指して造られたそうです。



【エスコンフィールドのグラウンド内にて】

【北広島市の構想】

北広島市は、北海道医療大学と(株)ファイターズ スポーツ&エンターテイメントとともに、Fビレッジエリア内に、大学キャンパスと病院を新設する等の計画を締結したそうです。北海道医療大学は、共通の基本的思想として、魅力あるまちづくりの実現に協力していきたいと表明されています。



【北海道ボールパーク F ビレッジ】

他にも、Fビレッジ隣接地に新しい駅を作る計画も進めているそうです。北広島市にはJR北広島駅があり、札幌と新千歳空港を結ぶ快速「エアポート」が定期的に運行していて、札幌・新千歳空港へスムーズにお出かけすることができます。交通の便も良い北広島市は、10年後には人口が7~8万に増えると予想されています。

北広島市のすごい構想と行動力と勢いに、身震いしてしまいました。

【思い返せば】

40年前、私は明和町(村)の職員でした。当時、どうやって明和町を売り込もう、明和町にどうやって民間投資を引き込もうと、そんな事を考えていました。県や国の許認可や地主の説得法、民間が投資してくれるような町の魅力作りを模索していました。それを、この北広島市のエスコンフィールドに来て思い出しました。

私のルーツは「明和町を凄い町にしたい」と言う公務員の淡い夢からスタートしましたが、政治の世界を知り、夢破れ、役場を去って四国のお遍路のように民間を周っておりました。おかげで、色々な知識を身につけて町長となった今、気付けば昔からの夢を追っている自分があります。私も北広島市と同じように腹を決めて、夢に臨んでいます。



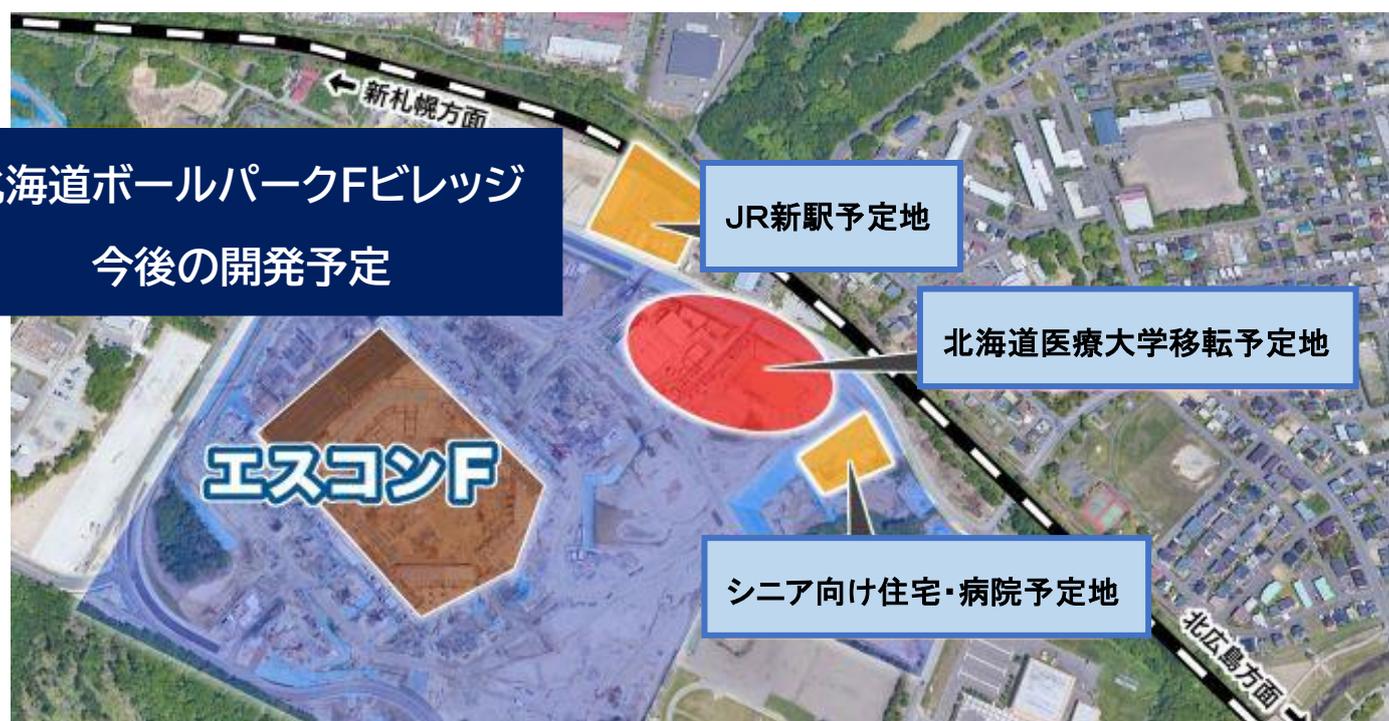
【エスコンフィールドを案内するファイターズガール】

【ふたつの球場の行方】

北海道の球場と言えば、札幌市に札幌ドームもあります。札幌ドームはサッカーと野球兼用のドーム型スタジアムです。施設は札幌市が所有し、市と道内財界各社が第三セクター方式で出資する「株式会社札幌ドーム」が指定管理者として運営管理に当たっているそうです。2002FIFA ワールドカップでの使用を前提として、全天候型多目的ドームとして2001年に完成しました。

ワールドカップが終わってからは、Jリーグのコンサドーレ札幌の本拠地として活用されましたが、試合数の少ないJリーグの動員だけでは採算が心もとない状況だったようです。そこへ、日本ハムファイターズの本拠地移転という話が飛び込んで来ましたが、定住には至りませんでした。

札幌ドームは、経営について苦境の報道がされた時もありましたが、先日、「大和ハウス工業」とネーミングライツの契約を締結し、8月から「大和ハウスプレミストドーム」とすると発表されました。今後の札幌ドームのご活躍に期待が高まっていると思います。



一方、エスコンフィールドのある北広島市は、地価も上昇し「街づくり」のレベルに及ぶ経済効果をもたらしています。私も実際にエスコンフィールドを視察し、キツネダンスを踊るファイターズガールに案内していただきました。案内料は1人2500円で、年間100万人が見学に訪れているので、25億円も売り上げるそうです。商売上手ですね。

【壮大な夢！北広島市に栄光あれ！】

北広島市は、これだけのプロジェクトを遂行しているので、よほどの仕掛け人が必要だったと思います。人材に恵まれなければ途中で頓挫してしまいます。私が北広島市の担当者に、「開発の許可等、多くの課題があったと思います。」と問うと、「できないとは考えませんでした。できるまでやるんだと思ってましたから。」と答えられました。

北広島市の担当者は、「やるしかない」と腹を決めていました。上野市長をはじめ担当者のみなさんの、「夢の実現には労を惜しまない」という覚悟に感服いたしました。明和町も北広島市にならって頑張ります！

令和6年8月9日

明和町長 富塚もとすけ